

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	セカンドプレイス		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの特性に合わせた支援ができています。	子どもたちの特性に合わせて、少し頑張ることや何度も繰り返し行う支援を組み合わせることで日々の放課後等デイサービスに取り入れている。	日々変わる子どもたちの様子に柔軟に対応できるよう、支援者も柔軟性を持って子どもたちと向き合うこと。子どもたちの困ったに気づけるような関係性の構築。
2	子どもたちの成長に合わせた支援と支援ができています。	今年度から高学年を中心としたヴァインランド評価を取り入れ、保護者様へのフィードバックとともに支援の確認を行っている。成長に合わせた理解を支援者とともに考え共通理解を図っている。	評価を全児童取り、今後の細かな支援に繋げていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	セカンドプレイスから一歩でた地域との交流や地域児童さんとの交流などの機会	近くに高齢者事業所もあるものの、提供時間が異なり、交流の機会が設定できにくい。また、学童さんとも送迎時のみの交流となっていた。	地域イベントへの積極的な参加の機会を探して敏感にキャッチし参加へ進める。学童さんへ通う児童もいるため、交流の機会をどこかで作れないか依頼をしてコミュニケーションを図ってみる。
2	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会	家族支援プログラム等の研修、情報提供機会については、今年度新人のスタッフも多く、経験者がモニタリングの参加や面談等の実施でしか動けなかった点も要因として考えられる。	幅広く研修の機会になれるような、保護者の興味の出る研修を計画し参加を呼びかけ、今後の子育てが少しでも軽くなれるようサポートしていきたい。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催	今年度新人のスタッフも多く、経験者がモニタリングの参加や面談等の実施でしか動けなかった点も要因として考えられる。	次年度は、保護者様へ来所の機会が増えるような取り組みを行い、横の繋がり、保護者会等を開催できるよう計画立案できるとういこと考える。

公表 護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 セカンドプレイス

公表日 R8年 2月 23 日

利用児童数

総数38人

34家族

回収数

32

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29			1	今年度は、新しいスタッフも入りスタッフ紹介ができていなかったため、スタッフの顔や職種など知っていただき安心して利用できる場所を目指しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	1		1	セカンドプレイスのお部屋紹介等も今後の活動に取り入れていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29			1	放課後等デイサービスの個別支援計画書の説明と同意の徹底を図っていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27			3	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17	1	2	10	今年度は、地域交流の機会が放課後等デイサービスでは中々作れず、申し訳ありませんでした。今後、子どもたちが社会で過ごすための機会を計画立案していきます。
保 護	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	3		3	今年度は、家族支援の部分での研修会や情報提供の機会が作れず、申し訳ありませんでした。今後、ご家族に向けた研修や情報提供等機会を計画立案していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30				細かな報告、成長について対応をお伝え頂いている。 ご意見ありがとうございます。今後も、子どもたちの成長に合わせた支援を行っていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	1			常にあたたかい支援を頂いている。 ご意見ありがとうございます。今後も、子どもたちの成長に合わせた支援を行っていきます。

者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	2	1	7	ご意見ありがとうございます。今年度のイベントは父母中心に行っていましたが、来年度はきょうだい児についても交流できる機会に努力したいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27			3	回答ありがとうございます。子どもやご家族からの相談申し入れについては、常にお受けできます。どのような相談でも構いませんので、子どもたちやご家族にとって第二の居場所になれるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1		2	ご回答ありがとうございます。子どもの実態に合わせたツールや支援方法を変えて意思疎通を図ったり情報伝達を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	1		3	ご回答ありがとうございます。今年度はInstagramでの情報発信に力を入れて活動を行ってきました。また、会社HPやLINE等も活用しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1		2	ご回答ありがとうございます。個人情報につきましては、契約時に承諾書をお願いしています。また、今年度はInstagramの承諾書の実施も行ってきました。今後も個人情報の取り扱いには留意して支援を行っていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20			10	ご回答ありがとうございます。避難訓練は定期的に行っておりますが、開示されておらず申し訳ありません。子どもたちの安全を守るための訓練を引き続き行い、活動報告まで行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			13	ご回答ありがとうございます。避難訓練は定期的に行っておりますが、開示されておらず申し訳ありません。子どもたちの安全を守るための訓練を引き続き行い、活動報告まで行います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25			5	子どもが乗車時、気をつけてもらえたらありがたいです。ご意見ありがとうございます。子どもたちの送迎時、乗車時等気を引き締めて行います。今後もご意見ありがとうございます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27			3	まだ支援中に怪我したことがないのでわかりません。ご意見ありがとうございます。今後も、子どもたちの成長に寄り添った支援を行っていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28			2	長く通所を利用し、親身な対応、まさに子どもにとって第二の居場所となっております。ご意見ありがとうございます。私どもの会社理念をご理解くださり嬉しく思います。今後も、子どもたちの第二の居場所となれるよう精進いたします！
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28			2	子ども自身の成長を評価し更に伸ばそうとしてくれること、日々の発見と喜んでいます！ご意見ありがとうございます。今後も、子どもたちの成長に寄り添った支援を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1		2	申し分ないです。いつもあたたかいサポート感謝いたします。ご意見ありがとうございます。スタッフ一同今後も引き続き子どもたちの成長につながる支援になるよう努めてまいります。引き続きご理解ご協力よろしくお願いいたします。

公表 養所における自己評価結果

事業所名	セカンドプレイス		公表日	R8年 2月 23日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		1Fで静かな活動、お集まり 2Fで活発な活動、動具活動	継続して活動の環境をわけて工夫して子どもたちにわかりやすくした上で自己選択自己決定を促していきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	トイレはバリアフリー、物の見えない工夫	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動後の遊具やおもちゃの消毒、掃除	感染症対策の一環として徹底していき、子どもたちの安全に過ごす空間を作っていきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		センター長や社長、先輩方が話を聞いてくれる。	お昼の時間や朝礼、昼礼など話す機会での雰囲気作り、気づいた事は言える雰囲気を作っていきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	今後他事業所の取り組みについても知りたい。	第三者評価がどの程度なのか把握しきれていないが、事業所も3箇所あるため、情報共有できるようにしていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		スキルアップ研修、交換研修、合同研修、必須研修、全体研修	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		その日のフォーカスを当てた支援をしている。	継続して固定化しないようにアセスメントを行う。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		ヴァインランド評価、行動観察（専門職による）	評価を継続して行い支援に繋げる。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		入職してまだ日が少ないため、ガイドラインの把握ができていない。	ガイドラインについてスタッフ間で情報共有しガイドライン存在を周知していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		その日のメインが決めてみんなに周知している。	継続して実施する。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか 。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	5		日誌の活用	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		朝礼や昼礼、送迎後など	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	5		支援経過記録として残している。定期的に 見直しし意見する時間を設けている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年区切りで行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせることで支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		話し合いを行い、活動を決めている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		特定のスタッフ自体は設けていないが、意 見を集約して誰でも参加できるようにして いる。	継続して実施していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	5		LINE等を活用して連絡を取れるようにし ている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		保育所等訪問支援事業との連携をとり就園 先や就学先との情報を共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	始良市のセンター主催のグループ会議、公 開療育などへの参加	継続してセンターの連携事業や他事業所か らのスーパーバイズも受け入れる姿勢をとり たい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。	2	3	地域の高齢者施設との交流の機会を行事で 行っている。 まだ実施されていない。	地域との交流機会を今後も定期的 に実施し、セカンドプレイスのみで完結しない支援 に繋げていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	始良市のセンター主催のグループ会議、公 開療育などへの参加 まだ参加したことがないため、わからない	今年度は特に情報があまりない様子であ ったので次年度はこちらから情報を取りに行 けるよう努力したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	5		面談や、相談員さんの定期的なモニタリ ングや担当者会議に積極的に参加している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		今年度は保護者参加型のイベントが少なく 、夜カフェのみの実施に終わってしまった 。 研修はないが、毎回保護者様へフィードバ	イベント実施が少ない現状もあり、来年度 に繋げられるよう計画立案していき、保護 者様との意見の交換ができる場を提供して いきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	4	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者 の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ て、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		ヴァインランド評価を返却してフィードバ ックする際に保護者様と支援の共通理解を 図り優先事項を確認している。	継続して、利用児童の現状を評価できるよ う進めていきたい。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1	夜カフェの実施。	今年度のイベントは父母中心に行っていましたが、来年度はきょうだい児についても交流できる機会に努力したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		月の初めに月間予定や園行事等を聞き取っている。	継続して、園や学校とも連携した支援になるよう情報共有を心がけたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		地域の高齢者施設との交流の機会を行事で行っている。	地域との交流機会を今後も定期的を実施し、セカンドプレイスのみで完結しない支援に繋げていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			ヒヤリハットを細かく挙げていくことで、スタッフの気づきも増してくる為、来年度は更に意識を挙げて取り組めるよう努力し
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			社内研修内容でもあるため、スタッフともに情報共有し徹底した行動が取れるよう周知する。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	入職したばかりでまだわからない。	社内研修内容でもあるため、スタッフともに情報共有し徹底した行動が取れるよう周知する。	